

- 1 発表者氏名 歳田和子
- 2 学校名 熊本県立黒石原支援学校
- 3 発表テーマ 「一人一人の生徒のニーズに応じた体育活動のあり方」
～病状と障がいに応じた授業づくりをめざして～(中学部の取組)

4 学校概要

本校は、「共に生きる愛と共感の教育」を教育理念とし、「児童生徒の病気や障がいの状況を踏まえ、教育的ニーズに応じた具体的な指導・支援をとおして、一人一人の能力を最大限に伸ばし、主体的・自立的な生活につながる」を教育目標に掲げ、児童生徒の教育に取り組んでいる。小学部1年生から高等部3年生(学齢超過の生徒も含む)までの児童生徒が在籍し、Ⅰ課程・Ⅱ課程・Ⅲ課程・訪問教育と、4つの教育課程がある。Ⅰ課程では、小中高等学校に準じた教育、Ⅱ課程は、教科別の指導及び各教科等を合わせた教育、Ⅲ課程・訪問教育は、自立活動を主とした教育をおこなっている。

5 発表概要

中学部Ⅰ課程・Ⅱ課程の教科学習の中で行う「保健体育」での取組である。運動制限や生活規制のある生徒が在籍するため、実態を踏まえて2つのグループに分け、それぞれの目標を設定した授業を展開している。「保健体育」の授業の中で学習形態や学習方法、学習教材を工夫することによって、身体的・心理的な病状により参加が難しい児童生徒が持てる力を精いっぱい発揮し、「生きがい」を見つけたり「できた」という成功体験を積み重ねたりすることで成就感や満足感を味わい「自信」へとつなげたい。

6 成果と課題

「成果」

- ◎授業作りのための教材教具の開発と学習計画の見直し、個別支援のあり方について工夫する事ができた。
- ◎生徒は「できることがある」が自信につながり日常生活にも広がりを持たせることができた。スモールステップで学習を進めることで、安心して授業に参加することができた。視覚的な支援により、動きを客観的にとらえイメージしながら活動する事ができたことは、「できた・褒められた・嬉しい・楽しい・次への挑戦」へとつながると確信する。

「課題」

- 基礎体力の向上のため活動量を増やしていきたいことと、関心意欲を高めるためのポジティブ思考を促進させていきたいことである。今後も生徒の実態をしっかりと把握し授業を通して、生きがいをみつけ病気の受容・改善・克服へとつなげたい。